

愛知教育大学は、広域の拠点的役割を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

この使命を達成するために、教育学研究科専門職学位課程教育実践高度化専攻（教職大学院）では、自らの教育実践を理論に基づき振り返ることができる実習を教育課程の中心に置くことにより、理論と実践の往還を持続的に発展させていくことを基本的な教育方法とし、以下の科目等で教育課程を編成・実施します。

◎カリキュラムデザイン、道德教育、特別支援教育など今日的な教育課題を探究する「5領域」の共通科目

◎経験の省察を基に、新たな教育を創造することのできる力を養う「体験プログラム開発に関する領域」の共通科目

◎各コースの内容を横断的に学ぶ「コース共通専門科目」

◎各コース・各系の専門性を高めるための「専門科目」

◎理論と実践の融合をはかるための課題実践実習、教師力向上実習等の「実習科目」

◎学びの集大成である「実践研究報告書」につなげる課題実践研究の科目

以上の科目において、学校現場等での実際的な問題解決に資するため、発表、討論、フィールドワーク、ワークショップ、事例研究、ロールプレイングなどの手法を用いた教育を実施します。

学修成果の評価については、各科目の判定基準をシラバスにおいて明示し、その基準に基づいて実施します。